

かけはし

第29号

リハビリテーションセンターからのお知らせ

当院のリハビリテーションでは、丹波篠山市内のお住まいの方を対象として、訪問リハビリテーションを実施しています。訪問リハビリテーションは、リハビリテーション専門職がご自宅へ訪問し、住み慣れた環境でできる限り自立した日常生活が送れるように、リハビリテーションを行います。入院中のリハビリテーションと違い、実際の生活の場で身の回りの動作や家事動作などの練習や指導を行うことが大きな特徴です。また、利用者さんの状況に併せて、適切な歩行器や車椅子といった福祉用具の選定や手すりの設置といった住宅改修の提案を行うことも多いです。

当院のリハビリテーションは、入院時より積極的に実施していくことを特徴としていますが、訪問リハビリテーションにより、退院後も切れ目のないフォローを行い、利用者さんとそのご家族が安心して在宅生活を継続できるようなリハビリテーションの提供を心がけています。

①入浴練習



②調理練習



③福祉用具の提案（電動カート）



栄養室からのお知らせ

注目! 『食べて対策』介護予防・フレイル予防!

年齢とともに心身の機能が衰え始める状態をフレイルといいます。フレイルは、**運動、栄養、口腔、社会・心理**の4つの機能の低下によって起こりますが、生活の見直しや適切な対応により、予防することができます。

主食と一緒に♪ **さあにぎやか「に」いただく**

かな ぶら く ゆうにゅう さい いそう も まい いず だもの

フレイルを予防するために、いろいろな食品を食べることが推奨されています。**さ(魚)・あ(油)・に(肉)・ぎ(牛乳)・や(野菜)・か(海藻)・に(芋)・た(卵)・だ(大豆)・く(果物)**の10の食品群から、毎日7品目以上摂取しましょう。

「さあにぎやかにいただく」は、東京都健康寿命医療センター開発した食品摂取多様性スコアを構成する10のロコモチャレンジ! 推進協議会が考案した合言葉です。

参考：東京都健康長寿医療センター研究所「いろいろ食べが」

兵庫医科大学ささやま医療センター等の経営移譲に係る基本合意書の締結について

兵庫医科大学ささやま医療センター、ささやま老人保健施設及びささやま居宅サービスセンター（以下「ささやま医療センター」）の事業を、医療法人社団みどり会にしき記念病院（理事長 井手通雄、以下「にしき記念病院」）に経営移譲することについて、丹波篠山市、にしき記念病院、本学の3者間で基本合意書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

ささやま医療センターは、長年にわたり丹波篠山地域の医療・介護の中核としての役割を担って参りましたが、丹波篠山市との「兵庫医科大学ささやま医療センターの運営等に関する基本協定書」の協定期限が昨年7月となっていたことから、丹波篠山市ともご相談の上、本年3月まで協定期限を一旦延長した上で、丹波篠山地域において引き続き安定的に医療・介護を提供し続けるための方策を検討して参りました。

本件においては、丹波篠山市から、地元医療機関と経営移譲に関する話し合いを進めてほしいとの要請を受け、関係者間で協議を継続した結果、今回にしき記念病院へ経営移譲することで基本合意に至ったものです。

基本合意に至るまでの間、患者の皆様、地域の皆様に、ご不便ご心配をお掛けいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。7月に予定している経営移譲に向けて、引き続き丹波篠山市、にしき記念病院と協力のもと準備を進め、万全な引継ぎを行うとともに、経営移譲までの間、丹波篠山地域の中核病院・介護施設として地元の医療・介護に着実に貢献して参りますので、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

ささやま医療センター
Instagram



ささやま老人保健施設
Instagram



臨床栄養室レシピ動画

